科目名	検査・測定と評価							年度	2025
英語科目名	Physical Examination, Measurement, and Evaluation							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	長畑・加藤	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		

【科目の目的】

本科目は日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格取得に必要な科目となります。
整形外科的な検査・測定と評価方法の理論・実技について、スポーツ動作の観察と分析を習得する事が目的です。

【科目の概要】

アスレティックトレーナーに必要な評価・検査・測定の手法、スポーツ動作の観察・分析について学びます。

【到達目標】

スポーツを安全に楽しく実施するために、各種の検査・測定と評価の意義、各種測定方法について、歩行動作・走動作・投動作・あたり動作などのメカニズムなどについて学びます。
理論だけでなく、整形外科的検査方法は実技としても学び、高度な知識と技能を備えた医・科学サポートスタッフであるアスレティックトレーナーとしての役割を踏まえ総合的に理解を深められることが到達目標です。
A：理論全般
B：ATとしての評価全般
C：各種動作の理解

【授業の注意点】

持物：テキスト、筆記用具（レポート用紙orルーズリーフ）授業には毎回出席し、課題は必ず提出して下さい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 B	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 C	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上		理解している 60点以下

【教科書】

JSPO-AT教本『検査・測定と評価』

【参考資料】

配布プリント

【成績の評価方法・評価基準】

課題・筆記試験・実技試験・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		検査・測定と評価			年度	2025
英語表記		Physical Examination, Measurement, and Evaluation			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	評価とは	ATに必要な評価の理解	1 評価の概要	評価する意味・概要を理解	2	
2		評価の基本	1	姿勢・アライメント	2	
			2 評価の基本理論・実技	筋萎縮		
			3	周径位		
3	関節の緩み	関節弛緩性の理解	1 関節弛緩性テストの理論・実技	関節弛緩性テストの理論・実技が分かる	2	
4	関節可動域	ROMの意味と測定方法の基本	1 ROM測定の基本	ROMの理解と測定方法の基本ができる	2	
5		上肢のROM	1 測定	上肢の関節のROM測定ができる	2	
6		下肢のROM		1	下肢の関節のROM測定ができる	2
7	筋力について	MMTの意味と測定方法の基本	1 ROM測定の基本	ROMの理解と測定方法の基本ができる	2	
8		上肢のMMT	1 測定	上肢の筋のMMT測定ができる	2	
9		下肢のMMT		1	下肢の筋のMMT測定ができる	2
10	筋の硬さ	筋タイトネスチェック	1 筋タイトネスチェックについて	理論が理解できる 上肢の評価ができる 下肢・体幹の評価ができる	2	
11	整形外科的テスト法	肩関節の検査	1 部位別スペシャルテスト	各種スペシャルテストの意味・手技ができる	2	
12		手・肘関節				
13		股関節・膝関節				
14		足関節				
15	まとめ	総理解	1 理論の理解	理論を理解している	2	
			2 評価方法の基本	評価の基本を理解している		
			3 部位別の評価	部位別に総合的な評価ができる		

16	ATによる評価	ATによる評価について	1	評価方法の基本	ATによる評価を理解する	2		
17	姿勢	姿勢について	1	姿勢の理解	姿勢に関して理解する	2		
18	評価の基本	評価の基本	1	関節の評価	関節の評価を理解する	2		
			2	筋力の評価	筋力の評価を理解する			
			3	評価方法	評価方法を全般を理解する			
19	体組成	体組成について	1	体格	体格について理解する	2		
			2	体組成	体組成について理解する			
20	体力	体力について	1	体力とは	体力の理解する	2		
			2	行動体力	行動体力を理解する			
			3	防衛体力	防衛体力を理解する			
21	測定について	測定について	1	体力測定	体力測定を理解できる	2		
					体力測定を理解できる			
					体力測定から評価ができる			
22	怪我の評価	スポーツ傷害の評価	1	下肢	下肢のスポーツ傷害の評価ができる	2		
					2		上肢	上肢のスポーツ傷害の評価ができる
					3		体幹	体幹のスポーツ傷害の評価ができる
23			4	その他	上記以外のスポーツ傷害の評価ができる	2		
24	動作	歩く	1	歩行動作の理解	歩行動作に関して理解する	1		
25		走る	1	走動作の理解	走動作に関して理解する	1		
26		止まる	1	ストップ動作の理解	ストップ動作に関して理解する	1		
27		跳ぶ	1	ジャンプ動作の理解	ジャンプ動作に関して理解する	1		
28		投げる	1	投動作の理解	投動作に関して理解する	1		
29		あたる	1	あたる動作の理解	あたる動作に関して理解する	1		
30	まとめ	評価のまとめ	1	ATとしての評価	上記の総合理解がある	2		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等